

平成26年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業

趣旨 三陸海域は、寒流と暖流の潮境であり、栄養塩が豊富で水環境も良好なことから、生物の生産性が高く、多様性にも富み、また、深海の日本海溝が近海にあるなど、海洋及び水産の研究フィールドとしての好条件を備えています。岩手県では、三陸海域における海洋及び水産研究の活性化を目的として、岩手県三陸海域(内水面及び陸域を含む。)に関する若手研究者の論文を募集しています。

1 対象研究等

(1)対象とする研究は、次のア及びイに該当する研究とします。

ア 海洋生物、海洋環境など、広く海洋に関するものであること。又は、水産資源の増養殖や加工、漁業経営など、広く水産振興に関するものであること。

【対象分野例】海洋物理学、海洋化学、海洋生物学、海洋地質学、海洋工学、漁業学、水産資源学、水産海洋学、水産増殖学、水産養殖学、水産化学、水産加工学、水産経済学など

イ 岩手県三陸海域(内水面及び陸域を含む。)を実地調査したものであること、又は同海域における水産業復興に資するものであること。

(2)応募する論文は、未発表、既発表のいずれも可能とします。

2 部門及び賞の種類等

学生の部及び一般の部の2部門を設け、次の賞を授与します。

(1)岩手県知事賞

対象:岩手県三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容と認められる研究
(賞状及び副賞 旅行券5万円分)

(2)特別賞

対象:今後の研究継続により、さらなる成果が見込まれる研究又は独創性が高いと認められる研究
(賞状及び副賞 旅行券2万円分)

3 応募資格等

(1)対象者は以下のア、イのとおりとする。

ア 学生の部

日本国内の大学等に在学する学部生又は大学院生。

イ 一般の部

日本国内の研究機関等(大学、公設試験研究機関等)に所属(非常勤、臨時職員を含む)する若手研究者。

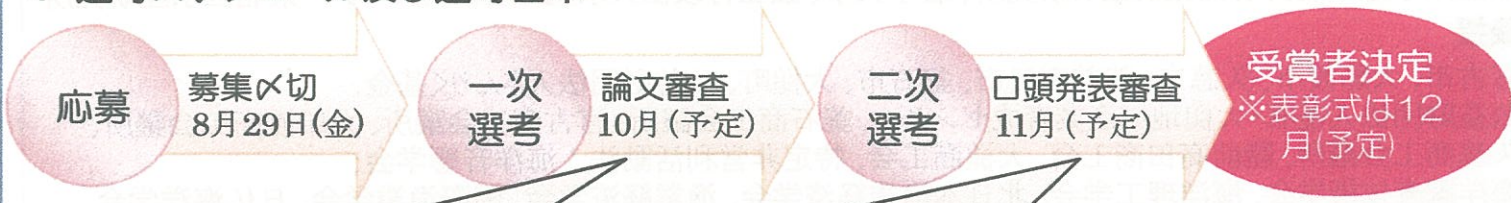
(2)国籍は問わないこと。

(3)共同研究である場合は、応募者が主体的に研究したものであること。また、応募に当たっては共同研究者の了解を得ること。

(4)応募できる研究は1人1題とする。

(5)賞を授与した後であっても、応募資格等が要件を満たさないことが判明した場合は、賞を取消すことがある。

4 選考スケジュール及び選考基準



【第一次選考(論文審査)】

- ・応募者から提出された論文をもとに審査し、両部門合わせて10件程度を選考します。
- ・第一次選考の結果は、応募者全員に通知します。

【選考基準】

- ・研究目的が明確な問題意識に基づく適切なものか。
- ・研究方法の実証性が担保されているか。
- ・三陸海域の海洋特性や生態系の理解促進、三陸海域の諸問題の解決に資するか。
- ・学術的に高い水準が確保されているか。

【第二次選考(口頭発表審査)】

- ・第一次選考通過者による口頭発表をもとに審査し、第一次選考の審査結果と合わせて各賞の受賞者を選考します。
- ・時期は、平成26年11月を予定しています。
- ・口頭発表の時間は1人あたり30分(発表20分、質疑10分)です。

【選考基準】

- ・論文の学術的水準
- ・論旨の明確さ
- ・質疑応答の的確さ
- ・プレゼンテーション資料の完成度
- ・研究の拡張性・発展性

5 応募

(1) 募集期間

平成26年4月1日(火)～8月29日(金)

(2) 応募方法 応募者は次の方法により応募してください。

① 別紙「応募書類の仕様」に従って、応募者プロフィール(様式1)及びアブストラクト(様式2)を作成し、各1部を提出してください。

② 応募書類は、郵送又は電子メール(ファイル転送サービスも可)にて、提出をお願いいたします(締切日必着)。なお、電子メールで提出した場合は、事務局より受信した旨ご返信いたします。

(3) 応募書類の入手方法

岩手県のホームページより、ダウンロードしてください。

URL:<http://www.pref.iwate.jp/monozukuri/kaiyou/sanriku/024078.html>

トップページ⇒総合案内(県のしくみと仕事)⇒政策地域部⇒科学ILC推進室
⇒三陸海域研究論文⇒平成26年度岩手県三陸海域研究論文の募集について

(4) その他

応募書類は返却いたしません。

(5) 応募・提出先

下記、応募先まで提出してください。

6 受賞者等の公表

(1) 受賞者の氏名、年齢、所属及び論文の内容は、マスコミ等を通じて公表します。

(2) 受賞者には、12月に開催予定の表彰式において発表を要請することがあります。この場合の交通費等は、岩手県の規程に基づいて支給します。

7 その他

(1) 実施主体等が応募書類を目的以外に使用することはありません。

(2) ご不明な点等ありましたら、下記問い合わせ先まで御連絡下さい。

過去の応募者の声

- ・研究成果を幅広く公表できる機会となった
- ・自分のキャリアアップにつながった。
- ・今後も三陸をフィールドとした研究を継続していきたい。
- ・自分の研究成果を広く知ってもらえる良い機会となった。
- ・これまでの研究内容を立ち止まってまとめる機会となった。

主催 岩手県

協賛

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター、北里大学海洋生命科学部、

北里大学感染制御研究機構釜石研究所、岩手大学、独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所

後援

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、公益財団法人さんりく基金、

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター、釜石商工会議所、宮古商工会議所、大船渡商工会議所、

久慈商工会議所、陸前高田商工会、大槌商工会、特定非営利活動法人海洋音響学会、

海洋調査技術学会、海洋理工学会、北日本漁業経済学会、漁業経済学会、国際漁業学会、日仏海洋学会、

日本沿岸域学会、日本海洋学会、日本魚病学会、日本魚類学会、公益社団法人日本食品科学工学会、

一般社団法人日本食品工学会、公益社団法人日本水産学会、日本水産工学会、日本水産増殖学会、

公益社団法人日本船舶海洋工学会、日本藻類学会、公益社団法人日本農芸化学学会、日本付着生物学会、

日本プランクトン学会、マリンバイオテクノロジー学会

【お問合せ先・応募先】

岩手県 政策地域部 科学ILC推進室内

(平成26年度岩手県三陸海域研究論文募集係)

住所: 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

Tel: 019-629-5252 E-mail: marine-con@pref.iwate.jp

平成26年度 岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業実施要領

1 目的

三陸海域は、寒流と暖流の潮境であり、栄養塩が豊富で水環境も良好なことから、生物の生産性が高く、多様性にも富み、また、深海の日本海溝が近海にあるなど、海洋及び水産の研究フィールドとしての好条件を備えている。そのため、本県沿岸には海洋研究機関が集積し、全国から多くの研究者が集まり、様々な海洋及び水産研究が行われている。

そこで、各研究機関の相互連携のもと、三陸海域で研究を実施している若手海洋研究者に発表の機会を設けることにより、研究者の育成と更なる研究活動を奨励し、将来に向けた海洋研究拠点形成の礎を築くとともに、交流人口の増加を通じた地域振興を図ることを目的とする。

2 実施主体等

(1) 主催

岩手県

(2) 協賛

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター、北里大学海洋生命科学部、
北里大学感染制御研究機構釜石研究所、岩手大学、
独立行政法人水産総合研究センター東北水産研究所

(3) 後援

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、公益財団法人さんりく基金、
公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター、釜石商工会議所、宮古商工会議所、
大船渡商工会議所、久慈商工会議所、陸前高田商工会、大槌商工会、
特定非営利活動法人海洋音響学会、海洋調査技術学会、海洋理工学会、北日本漁業経済学会、
漁業経済学会、国際漁業学会、日仏海洋学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、日本魚病学会、
日本魚類学会、公益社団法人日本食品科学工学会、一般社団法人日本食品工学会、
公益社団法人日本水産学会、日本水産工学会、日本水産増殖学会、
公益社団法人日本船舶海洋工学会、日本藻類学会、公益社団法人日本農芸化学会、
日本付着生物学会、日本プランクトン学会、マリンバイオテクノロジー学会

3 対象研究等

(1) 対象とする研究は、次のア及びイに該当する研究とする。

ア 海洋生物、海洋環境など、広く海洋に関するものであること。又は、水産資源の増養殖や加工、漁業経営など、広く水産振興に関するものであること。

対象分野例：海洋物理学、海洋化学、海洋生物学、海洋地質学、海洋工学、漁業学、水産資源学、
水産海洋学、水産増殖学、水産養殖学、水産化学、水産加工学、水産経済学など

イ 岩手県三陸海域（内水面及び陸域を含む。）を実地調査したものであること、又は同海域における水産業復興に資するものであること。

(2) 応募する論文は、未発表、既発表のいずれも可能とする。

4 部門及び賞の種類

「学生の部」及び「一般の部」の2部門を設け、次の賞を授与する。

(1) 岩手県知事賞

岩手県三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容と認められる研究に対して、両部門合わせて2名以内に授与する（賞状及び副賞）。

(2) 特別賞

今後の研究継続により、さらなる成果が見込まれる研究又は独創性が高いと認められる研究に対して授与する（賞状及び副賞）。

5 応募資格等

(1) 対象者は以下のア、イのとおりとする。

ア 学生の部

日本国内の大学等に在学する学部生又は大学院生。

イ 一般の部

日本国内の研究機関等（大学、公設試験研究機関等）に所属（非常勤、臨時職員を含む）する

若手研究者。

- (2) 国籍は問わないこと。
- (3) 共同研究である場合は、応募者が主体的に研究したものであること。また、応募に当たっては共同研究者の了解を得ること。
- (4) 応募できる研究は1人1題とすること。
- (5) 賞を授与した後であっても、応募資格等がこの要領に定める要件を満たさないことが判明した場合は、賞を取消することがあること。

6 選考

選考は、有識者による選考委員会が行う。

(1) 第一次選考（論文審査）

ア 応募者から提出された論文をもとに審査し、両部門合わせて10件程度を選考する。

イ 実施時期は平成26年10月頃とする。

ウ 選考基準は次の(ア)～(エ)のとおりとする。

(ア) 研究目的が明確な問題意識に基づく適切なものか

(イ) 研究方法の実証性が担保されているか

(ウ) 三陸海域の海洋特性や生態系の理解促進、三陸海域の諸問題の解決に資するか

(エ) 学術的に高い水準が確保されているか

(2) 第二次選考（口頭発表審査）

ア 第一次選考通過者による口頭発表をもとに審査し、第一次選考の審査結果と合わせて各賞の受賞者を選考する。

イ 実施時期は、平成26年11月頃とする。

ウ 口頭発表の時間は1人あたり30分（発表20分、質疑10分）とする。

エ 選考基準は次の(ア)～(オ)のとおりとする。

(ア) 論文の学術的水準

(イ) 論旨の明確さ

(ウ) 質疑応答の的確さ

(エ) プレゼンテーション資料の完成度

(オ) 研究の拡張性・発展性

7 応募

(1) 募集期間

平成26年4月1日（火）～8月29日（金）まで

(2) 応募方法

応募書類は別紙のとおりとし、郵送又は電子メール等にて事務局へ送付すること（締切日必着）。

(3) その他

応募書類は返却しない。

(4) 問い合わせ・提出先（事務局）

岩手県 政策地域部 科学I L C推進室

（平成26年度岩手県三陸海域研究論文募集係）

住所：〒020-8570 盛岡市内丸10-1

電話：019-629-5252 E-mail：marine-con@pref.iwate.jp

8 受賞者の公表等

(1) 受賞者の氏名、所属及び論文の内容は、マスコミ等を通じて公表する。

(2) 受賞者には、12月に開催予定の表彰式において発表を要請することがある。この場合の交通費等は、県が支給する。

9 その他

(1) 実施主体等が応募書類を目的以外に使用することはない。

(2) この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

別紙

応募書類の仕様

1 応募者プロフィール（様式1）の仕様

- (1) 論文タイトル、応募区分、氏名、生年月日、年齢（平成26年4月1日現在）、所属、職名、指導教授等の氏名、連絡先住所、メールアドレス、電話番号を記載すること。
- (2) 実地調査した場所と期間を記載すること。また、実地調査の場所はできるだけ詳しく記載すること。
- (3) 応募した研究の発表歴（未発表・既発表）を記載すること。既発表の場合は、発表した学会名等も記載すること。

2 アブストラクト（様式2）の仕様

- (1) A4で4枚とし、タイトル、所属及び1字空けて氏名、ショートアブストラクト【要旨】、アブストラクト【本文】の順に記載し、それぞれ1行ずつ空けること。
- (2) 各頁は1枚あたり1,600字以内（基本フォーマットは40行×40字）とし、文字は明朝体11ポイント、1頁目については次の(3)～(6)の指定に従うこと。
- (3) タイトルはゴシック18ポイントで2行以内とすること。
- (4) 所属及び氏名はゴシック14ポイントで右寄せ2字空けとすること。
- (5) 「ショートアブストラクト【要旨】」及び「アブストラクト【本文】」との見出しを設け、いずれもゴシック12ポイントとすること。
- (6) ショートアブストラクトは200字以内とすること。
- (7) 読みやすくするために、適宜改行し、番号等を付すこと。
- (8) 図表の使用は可とすること。

3 その他

- (1) すべての提出書類は日本語に限ること。
- (2) 応募書類は、Microsoft Wordで作成すること。